

表3 生産性を向上させる取組

資料3-3

事業者	系統	取組				基準値	目標設定	
		項目	実施内容	実施主体	実施目標	収支率(R7)	係数	収支率目標(R9)
〇〇	(記載例)	・割引き運賃等の利用促進	・運転免許返納者向け定期のPRチラシを市内全戸配布	事業者、沿線市	収支率の改善	55 %	101%	56 %
秋北バス	大館・田代	・割引き運賃等の利用促進 ・交通系ICカードの導入(R5年春、花輪・大館・米内沢営業所管内) ・コミュニティバスとの結節による利用促進 ・運賃改定の実施(R6.10～) ・大館市路線バスフリーパス券の制度拡大(R8.5)、大館市内路線バス一律運賃の導入(R8.7)により運送収入の増加を目指す	・沿線市教育委員会等に対して小学生、中学生長期休み特別運賃のPR協力を依頼 ・高校の入学ガイダンスにてバスの利用を呼びかけ ・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上 ・同路線と結節をしているコミュニティバスとの連携強化、待合環境の整備を行うことにより利用促進を図る ・運賃単価を上げる取組を行うことで収支改善を図る	事業者、沿線市	収支率の改善	35.5 %	101%	36.5 %
	大館・鷹巣	・割引き乗車券の利用拡大 ・モビリティマネジメント等の推進 ・交通系ICカードの導入(R5年春、花輪・大館・米内沢営業所管内) ・路線バスフリーパス券の活用 ・運賃改定の実施(R6.10～) ・大館市路線バスフリーパス券の制度拡大(R8.5)、大館市内路線バス一律運賃の導入(R8.7)により運送収入の増加を目指す	・沿線市教育委員会等への小学生、中学生長期休み特別運賃のPR協力依頼 ・沿線幼稚園、小学校等でバスの乗り方教室を開催 ・高校の入学ガイダンスにてバスの利用を呼びかけ ・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上 ・市町村と連携した全市民、全町民を対象とした路線バスフリーパス券の販売促進により、収益確保を目指す ・運賃単価を上げる取組を行うことで収支改善を図る	事業者、沿線市	収支率の改善	27.7 %	101%	28.7 %
	大館・小坂	・交通系ICカードの導入(R5年春、花輪・大館・米内沢営業所管内) ・路線バスフリーパス券導入 ・運賃改定の実施(R6.10～) ・大館市路線バスフリーパス券の制度拡大(R8.5)、大館市内路線バス一律運賃の導入(R8.7)により運送収入の増加を目指す ・関係機関との路線再編協議	・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上 ・市町村と連携し、全市民、全町民を対象とした路線バスフリーパス券を導入し、収益確保を目指す ・運賃単価を上げる取組を行うことで収支改善を図る ・幹線系統の要件を満たせない可能性が高く、関係機関と再編に向けた協議を開始する	事業者、沿線市	収支率の改善	21.7 %	101%	22.7 %
	大館・比内	・系統新設・割引き運賃等の利用促進 ・交通系ICカードの導入(R5年春、花輪・大館・米内沢営業所管内) ・コミュニティバスとの結節による利用促進 ・運賃改定の実施(R6.10～) ・大館市路線バスフリーパス券の制度拡大(R8.5)、大館市内路線バス一律運賃の導入(R8.7)により運送収入の増加を目指す	・沿線市教育委員会等に対して小学生、中学生長期休み特別運賃のPR協力を依頼 ・高校の入学ガイダンスにてバスの利用を呼びかけ ・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上 ・同路線と結節をしているコミュニティバスとの連携強化、待合環境の整備を行うことにより利用促進を図る ・運賃単価を上げる取組を行うことで収支改善を図る	事業者、沿線市	収支率の改善	%	101%	%
	能代・八竜	・モビリティマネジメント等の推進 ・他の交通モードとの連携強化の検討 ・デジタル技術の活用によるサービス向上 ・路線延長による利便性の向上 ・運賃改定の実施(R6.10～) ・関係機関との路線再編協議	・沿線小学校でバスの乗り方教室を実施 ・接続する自家用有償編連送等との連携強化を検討 ・デジタルサイネージ導入による利便性の向上 ・病院施設への乗り入れにより利便性向上と収益確保を目指す ・幹線系統の要件を満たせない可能性が高く、関係機関と再編に向けた協議を開始する	事業者、沿線市	収支率の改善	23.2 %	101%	24.2 %

表3 生産性を向上させる取組

事業者	系統	取組				基準値		目標設定	
		項目	実施内容	実施主体	実施目標	収支率(R7)	係数	収支率目標(R9)	
	小坂(2)	・交通系ICカードの導入(R5年春、花輪・大館・米内沢営業所管内) ・運賃改定の実施(R6.10～) ・小坂町路線バスフリーパス券の販売額改定(R8.4)により運送収入の増加を目指す	・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上 ・市町村と連携し、全市民、全町民を対象とした路線バスフリーパス券を導入し、収益確保を目指す ・運賃単価を上げる取組を行うことで収支改善を図る	事業者、沿線市町	収支率の改善	21.9 %	101%	22.9 %	
	花輪・大館	・割引き乗車券の利用拡大 ・モビリティマネジメント等の推進 ・交通系ICカードの導入(R5年春、花輪・大館・米内沢営業所管内) ・路線バスフリーパス券導入 ・運賃改定の実施(R6.10～) ・大館市路線バスフリーパス券の制度拡大(R8.5)、大館市内路線バス一律運賃の導入(R8.7)により運送収入の増加を目指す	・沿線市教育委員会等に対して小学生、中学生長期休み特別運賃のPR協力を依頼 ・沿線小学校でバスの乗り方教室を実施 ・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上 ・市町村と連携し、全市民、全町民を対象とした路線バスフリーパス券を導入し、収益確保を目指す ・運賃単価を上げる取組を行うことで収支改善を図る	事業者、沿線市	収支率の改善	20.4 %	101%	21.4 %	
秋田中央交通	追分	・交通系ICカードの導入(R4年春、全路線) ・交通系ICカード乗降データ利用した適正な負担金の収受(秋田市コインバス制度) ・割引き運賃等の利用促進 ・デジタル技術の活用によるサービス向上 ・バスロケーションシステム導入により利便性を向上させる R6.7サービス開始 ・運賃改定の実施(R7.10～)	・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上及び乗降データ等の活用 ・秋田市コインバス制度の適正な負担金収受(R5.4月～) ・1日乗り放題券の利用エリアを拡大(秋田市内限定から全沿線に:H29.4～) ・潟上市発行のバス割引券の利用方法を改善(市を越える場合は差額を払うことで併用可能に:H30.4～) ・高校の入学ガイダンスにてバスの利用を呼びかけ ・秋田駅西口へのデジタルサイネージ設置による利便性の向上 ・バスロケーションシステム導入により利便性を向上させる R6.7月からサービス開始 ・秋田駅からの連絡路にデジタルサイネージ設置(秋田市) ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。 ・ICカード利用実績により、適切な運行本数、運行時間へのダイヤ改正。(R8.10.1実施予定)	事業者、沿線市町	収支率の改善	58.8 %	101%	59.8 %	
	太平	・交通系ICカードの導入(R4年春、全路線) ・交通系ICカード乗降データ利用した適正な負担金の収受(秋田市コインバス制度) ・割引き運賃等の利用促進 ・運行ダイヤの見直しや路線再編の検討 ・デジタル技術の活用によるサービス向上 ・バスロケーションシステム導入により利便性を向上させる R6.7サービス開始 ・運賃改定の実施(R7.10～)	・交通系ICカードの導入による利便性の大幅な向上及び乗降データ等の活用 ・秋田市コインバス制度の適正な負担金収受(R5.4月～) ・1日乗り放題券の利用エリアを拡大(秋田市内限定から全沿線に:H29.4～) ・運行経路の見直しによる新規需要の掘り起こし(H30.10～) ・高校の入学ガイダンスにてバスの利用を呼びかけ ・秋田駅西口へのデジタルサイネージ設置による利便性の向上 ・バスロケーションシステム導入により利便性を向上させる R6.7月からサービス開始 ・秋田駅からの連絡路にデジタルサイネージ設置(秋田市) ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。 ・ICカード利用実績により、適切な運行本数、運行時間へのダイヤ改正。(R8.10.1実施予定)	事業者、沿線市町	収支率の改善	43.2 %	101%	44.2 %	

表3 生産性を向上させる取組

事業者	系統	取組				基準値	目標設定	
		項目	実施内容	実施主体	実施目標	収支率(R7)	係数	収支率目標(R9)
トランスポート	大湊八郎潟	・関係機関との連携による新規利用者の獲得 ・運行ダイヤの見直し等の検討 ・デジタル技術の活用によるサービス向上	・地域の商工団体等と連携したイベント等実施による利用拡大 ・運行ダイヤの見直し等の検討 ・バスロケーションシステムの充実を推進することによる利便性の向上	南秋協議会	収支率の改善	14.3 %	101%	15.3 %
	八郎潟五城目	・関係機関との連携による新規利用者の獲得 ・運行ダイヤの見直し等の検討 ・デジタル技術の活用によるサービス向上	・地域の商工団体等と連携したイベント等実施による利用拡大 ・運行ダイヤの見直し等の検討 ・バスロケーションシステムの充実を推進することによる利便性の向上	南秋協議会	収支率の改善	21.1 %	101%	22.1 %
羽後交通	本荘象潟3	・観光需要の取り込み ・運行ダイヤの見直しや路線再編の検討 ・デジタル技術の導入等によるサービス向上 ・貨物事業者との協働による貨客混載の実施 ・運賃改定の実施(R7.4～)	・バスパック(乗車券＋食事＋施設利用)の販売開始(H29.4) ・道の駅への乗り入れ開始(H30.4) ・スマホ定期発売開始(H30.2) ・PayPayによるQR決済の導入(R4.10～) ・d払いによるQR決済の導入(R6.2～) ・auPAYによるQR決済の導入(R6.11～) ・本荘営業所へのデジタルサイネージ設置による利便性の向上 ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。 ・本荘駅前へ乗り入れ開始(R7.10～)	事業者、沿線市	収支率の改善	26.6 %	101%	27.6 %
	横手大曲	・観光需要の取り込み ・デジタル技術の導入等によるサービス向上 ・運行ダイヤの見直しや路線再編の検討 ・運賃改定の実施(R7.4～)	・バスパック(乗車券＋食事＋施設利用)の販売開始(H29.4) ・バスパック提携施設の追加(R5.10～) ・スマホ定期発売開始(H30.2) ・土曜日閑散時間帯の運行本数削減(H30.4) ・PayPayによるQR決済の導入(R4.8～) ・d払いによるQR決済の導入(R6.2～) ・auPAYによるQR決済の導入(R6.11～) ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。	事業者	収支率の改善	75.8 %	101%	76.8 %
	本荘象潟4	・観光需要の取り込み ・運行ダイヤの見直しや路線再編の検討 ・デジタル技術の導入等によるサービス向上 ・運賃改定の実施(R7.4～)	・バスパック(乗車券＋食事＋施設利用)の販売開始(H29.4) ・道の駅への乗り入れ開始(H30.4) ・スマホ定期発売開始(H30.2) ・PayPayによるQR決済の導入(R4.10～) ・d払いによるQR決済の導入(R6.2～) ・auPAYによるQR決済の導入(R6.11～) ・本荘営業所へのデジタルサイネージ設置による利便性の向上 ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。 ・本荘駅前へ乗り入れ開始(R7.10～)	事業者、沿線市	収支率の改善	27.3 %	101%	28.3 %

表3 生産性を向上させる取組

事業者	系統	取組				基準値	目標設定	
		項目	実施内容	実施主体	実施目標	収支率(R7)	係数	収支率目標(R9)
	湯沢横手2	・観光需要の取り込み ・デジタルT技術の導入等によるサービス向上 ・運賃改定の実施(R7.4～)	・バスパック(乗車券＋食事＋施設利用)の販売開始(H29.4) ・スマホ定期発売開始(H30.2) ・PayPayによるQR決済の導入(R4.4～) ・d払いによるQR決済の導入(R5.11～) ・auPAYによるQR決済の導入(R6.11～) ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。	事業者、沿線市	収支率の改善	26.7 %	101%	27.7 %
	本荘秋田2	・デジタル技術の導入等によるサービス向上 ・運賃改定の実施(R7.4～)	・PayPayによるQR決済の導入(R4.10～) ・d払いによるQR決済の導入(R6.2～) ・auPAYによるQR決済の導入(R6.11～) ・本荘営業所へのデジタルサイネージ設置による利便性の向上 ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。	事業者	収支率の改善	27.0 %	101%	28.0 %
	横手大曲2	・観光需要の取り込み ・デジタル技術の導入等によるサービス向上 ・運行ダイヤの見直しや路線再編の検討 ・運賃改定の実施(R7.4～)	・バスパック(乗車券＋食事＋施設利用)の販売開始(H29.4) ・バスパック提携施設の追加(R5.10～) ・スマホ定期発売開始(H30.2) ・土曜日閑散時間帯の運行本数削減(H30.4) ・PayPayによるQR決済の導入(R4.8～) ・d払いによるQR決済の導入(R6.2～) ・auPAYによるQR決済の導入(R6.11～) ・運賃改定の実施により、収支改善を図る。	事業者	収支率の改善	42.0 %	101%	43.0 %